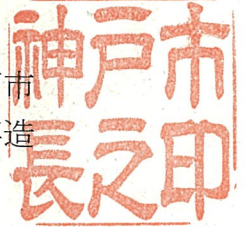


平成 30 年 5 月 9 日

神戸港港湾審議会 会長 殿

神戸港港湾管理者 神戸市
代表者 神戸市長 久元 喜造



中期計画について（諮問）

神戸港港湾審議会条例第 2 条第 3 号の規定に基づき、下記事項について諮問いたします。

記

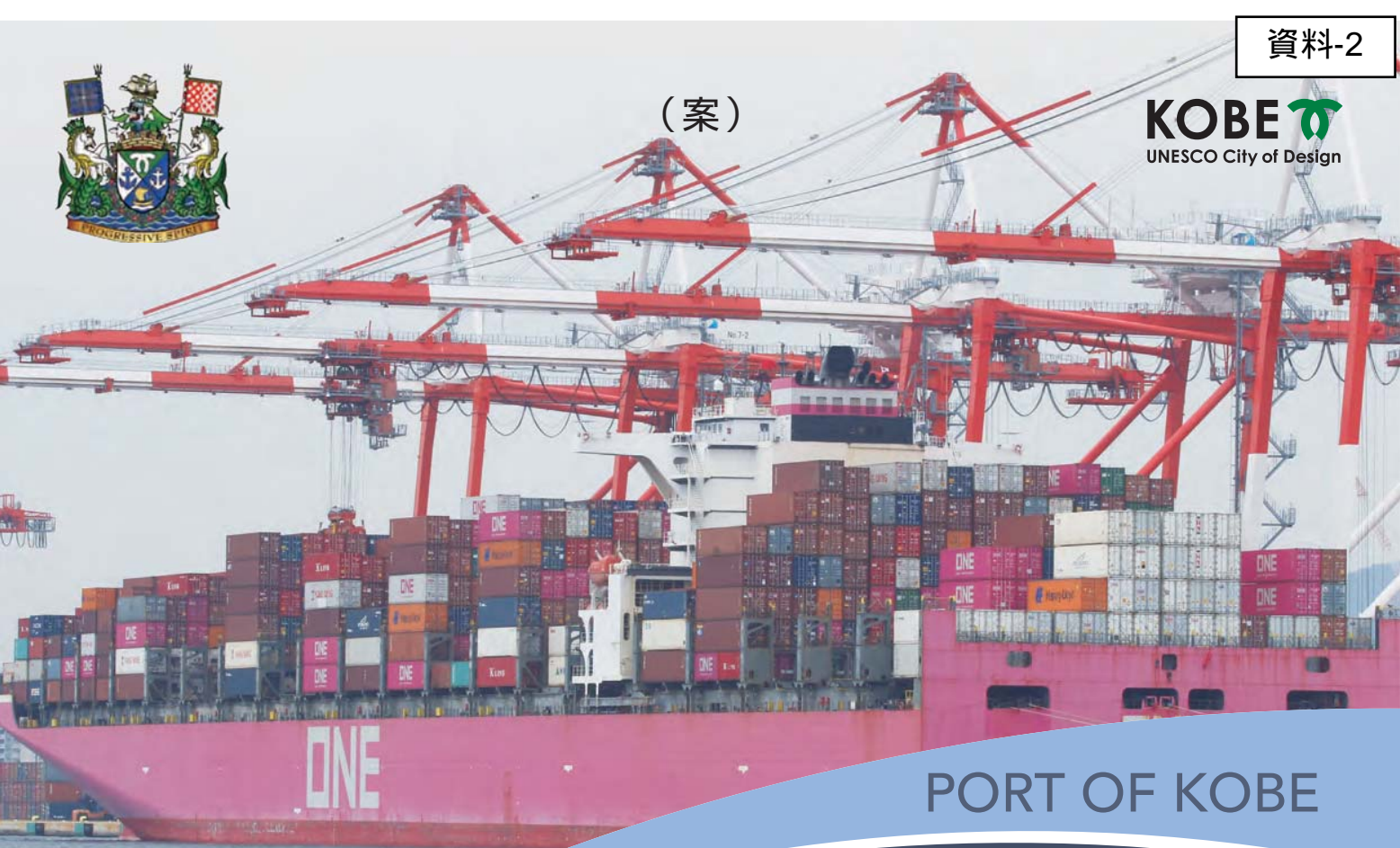
平成 29 年 7 月に策定した神戸港将来構想を着実に推進していくため、概ね 10 年を目標年次とする、神戸港の将来的な構想の一部である「中期計画」に関すること。

以上



(案)

KOBE
UNESCO City of Design



PORT OF KOBE

神戸港中期計画



神戸市

「神戸港中期計画」について

中期計画策定の背景と目的

- 2017年(平成29年)神戸開港150年を迎えた節目の年に、概ね30年先を見据えて今後、神戸港が目指していくべき将来像を示した「神戸港将来構想」を策定しました。
- 将来構想は、目標年次が概ね30年と長期にわたる構想であることから、近年の社会経済情勢も踏まえつつ、この構想を着実に推進する為、概ね10年間(2030年代前半)に取り組むべき内容や方針を示す中期計画を策定することとしました。

参考「神戸港将来構想」(抜粋)

▶ 神戸港が目指すべき将来

挑戦・進化を続けるみなと神戸 ～新たな価値創造を目指して～

▶ 目標を実現するためのコアプロジェクト

「港湾・産業」分野

目標

グローバルなサプライチェーンの中で、新たな価値を生み出す港

～神戸国際ロジスティクスパーク構想～

コアプロジェクトI

神戸港ロジスティクスターミナルの整備
による高付加価値化機能を備えた
再輸出型トランシップ拠点の形成

コアプロジェクトII

最先端の技術と高品質な物流サービスによる
神戸ブランドの確立

高品質な港湾サービスを支える高度人材育成

「にぎわい・都市」分野

目標

ラグジュアリーな時・場・出会いで、新たな価値を生み出すみなと

～世界を魅了するウォーターフロント構想～

コアプロジェクトIII

世界から人を惹きつける
神戸ウォーターフロントの形成

コアプロジェクトIV

クルーズ船受入環境充実とマーケット拡大
によるクルーズ都市の構築

海・空・陸のターミナルを結び、集客拠点を回遊する交通網の整備

2 中期計画の方向性

社会経済情勢の変化と目指すべき方向

- 神戸港将来構想(2017年)策定以降、新型コロナウイルス感染症拡大により顕在化したサプライチェーンの変容をはじめ、世界的なカーボンニュートラルによる脱炭素化の動き、自然災害の頻発・激甚化など、社会を取り巻く環境が大きく変化しつつあります。
- 神戸港中期計画では、将来構想に掲げる目指すべき姿を見据えつつ昨今、急速に変化しつづける社会経済情勢の動向を踏まえ、以下に示す「港湾・産業」「にぎわい・都市」分野ごとの方向性に沿って取り組むこととします。
- 社会経済情勢が目まぐるしく変化する中で、個別具体の取り組みについては、その時点での港湾物流を取り巻く環境の変化を注視しつつ、港湾業界など関係者の意見を踏まえながら進めるものとします。

「港湾・産業」分野

グローバルサプライチェーンの中で、世界から選ばれ続ける総合物流港

社会情勢の変化	方向性
港湾物流の変化 サプライチェーンの変容 寄港地の絞込み 新型コロナウイルス等	<ul style="list-style-type: none">・コンテナターミナルの一体利用・多様な海上輸送モードの充実(在来貨物)・倉庫等の物流施設の更新、高度化
世界的な脱炭素化の動き	<ul style="list-style-type: none">・カーボンニュートラルポート(CNP)の形成
労働力人口の減少	<ul style="list-style-type: none">・AIターミナル形成、DXを通じた生産性や労働環境の向上
自然災害の頻発化・激甚化	<ul style="list-style-type: none">・耐震、高潮・津波対策・神戸港港湾BCPの充実

「にぎわい・都市」分野

非日常の空間を提供し、国内外からの来訪者を魅了するみなと

社会情勢の変化	方向性
人口の減少・流出 都市間競争の激化	<ul style="list-style-type: none">・都市の魅力を高め交流人口を誘発・海路・空路を活かしたまちづくり・誘客
大阪・関西万博を はじめとした ベイエリアの活性化	

3 主要施策

「港湾・産業」分野

港湾物流機能の強化 ～総合物流港の形成～



- 国際コンテナ戦略港湾政策の取り組みを引き続き推進し、バースの柔軟な利用や荷役機械の相互利用など、効率的なターミナルの一体利用の促進
- 基幹航路の維持・拡大をはじめ、外航コンテナ航路網の多方面・多頻度化や国際フィーダー航路網の維持・拡充、アジア広域集貨プロジェクト等による集貨促進
- コンテナターミナル背後地の土地利用転換による高付加価値化の促進
- 老朽化した倉庫・上屋が集積するエリアの再編による、物流機能を高度化、効率化
- RORO貨物をはじめ、大型貨物や重量貨物等を取り扱うターミナルの機能強化による、多様な海上輸送モードの充実(複合ターミナル形成)
- ドライバー不足やCO2削減に対応したフェリーの利用促進
- 広域輸送ネットワークの整備促進
(大阪湾岸道路西伸部、港湾幹線道路(ハーバーハイウェイ)のETC導入)

環境にやさしいみなど



- 世界的なSDGs、ESG投資への関心が高まる中、港湾オペレーションの脱炭素化や水素等の次世代エネルギー利活用などによるカーボンニュートラルポート(CNP)形成の推進
- CO2吸収源として、ブルーカーボン(BC)の取り組みの推進

港湾物流デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進



- コンテナ車両のゲート前混雑の解消やターミナル滞在時間の短縮に向け、新・港湾情報システム(CONPAS)の導入
- タイヤ式門型クレーン(RTG)の遠隔操作化等「ヒトを支援するAIターミナル」実現に向けた取り組みの推進
- 港湾関連データ連携基盤(サイバーポート)構築の推進
- 将来の港湾事業を支える人材育成、高度な荷役・梱包技術の継承

安全・安心なみなど



- 耐震、高潮・津波対策の促進
- 大規模災害や感染症拡大時における港湾物流機能の継続
(神戸港港湾事業継続計画(BCP)の充実)

「にぎわい・都市」分野

都心・ウォーターフロント



- 新港突堤西地区から中突堤周辺地区を中心とする、民間活力を導入した再開発の推進
- 阪神高速3号神戸線の大規模更新事業に合わせた京橋周辺の再開発
- 民間活力を導入した水域活用や親水空間の創出(新港第1・第2突堤間)
- 官民が連携したエリアマネジメントによる持続性のある都心・ウォーターフロントの形成、国内外への魅力発信による交流人口の誘発
- 次世代モビリティや、新たな公共交通(LRTやBRT等)を導入した回遊性の向上
- ICT等の新技術を活用したスマートシティの実現

須磨海岸エリア



- 須磨海浜水族園や須磨ヨットハーバーなどの再整備を促進し、海岸と一体となった滞在型リゾートエリアの形成
- 須磨海岸エリアのプロムナードの整備や、次世代モビリティ等を導入した回遊性の向上
- JR須磨駅から須磨海づり公園に至る須磨海岸西エリアの活用検討
- サイクルツーリズムと連携した賑わいづくり

兵庫運河エリア



- プロムナードの整備促進による回遊性の向上
- 水辺の環境学習、イベント開催等による交流の場の提供

海路・空路を活かしたまちづくり・誘客



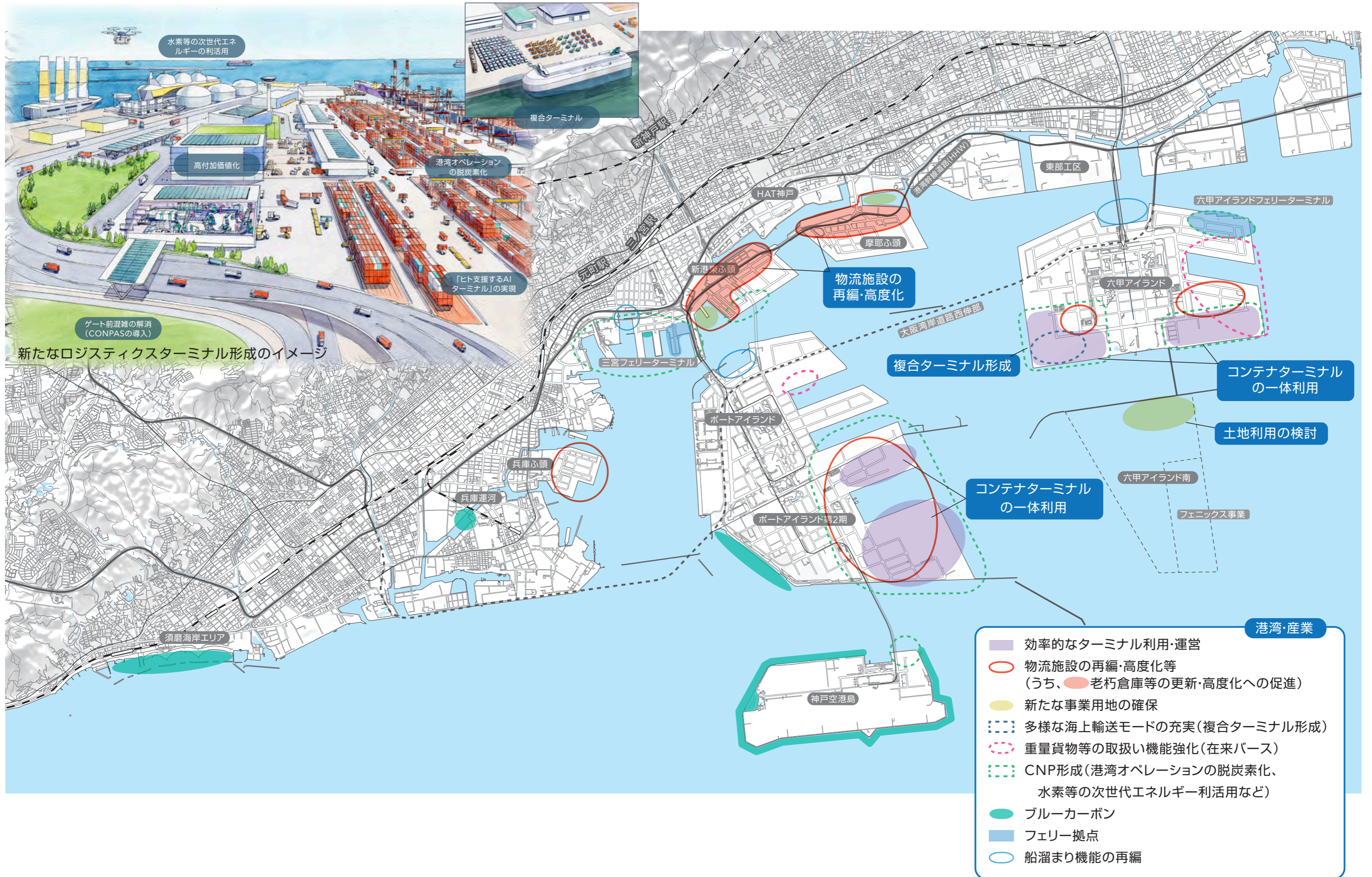
- 大阪湾ベイエリア活性化にあわせた新たな海上交通の検討
- 淡路島観光などと連携した海上交通の導入検討
- 神戸空港と海上交通を活用した新たな賑わいづくり
- 市街地から神戸空港へ至る交通ネットワークの強化

クルーズ



- プレミアム・ラグジュアリー船による瀬戸内クルーズなど、神戸発着クルーズの誘致
- Fly&Cruiseによる広域からの旅客誘致

4 ゾーニング【港湾・産業】



5 ゾーニング【にぎわい・都市】





参考

港湾物流機能の強化 ～総合物流港の形成～



国際コンテナ戦略港湾

▶ 集貨

- 基幹航路の維持・拡大をはじめ、欧米や東南アジアなどとの航路網の多方面、多頻度化
- 瀬戸内、九州エリアに加えて日本海諸港とを結ぶ国際フィーダー航路網の維持・拡充
- アジア広域集貨プロジェクトによる東南アジアからの集貨促進

▶ 創貨

- コンテナターミナル背後地では、土地利用更新に合わせて、流通・加工・製造機能の高度化など付加価値を高める企業の集積
- 新たな事業用地の確保や民間活力の導入手法を含め、老朽化した倉庫・上屋が集積するエリアの再編による物流機能の高度化・効率化の促進
- 建蔽率／容積率の見直し(コンテナターミナル背後地、老朽化倉庫・上屋集積エリア)

▶ 競争力強化

- 大型船の着岸や積替の利便向上に向けたバースの柔軟な利用、近接する岸壁間でのガントリークレーンの相互利用による荷役効率の向上に資するターミナルの一体利用
- 六甲アイランド南は、港内の浚渫土砂の受入や広域廃棄物処分場としての役割の継続と共に、積極的な建設残土の受入による早期陸域化の検討。
埋立の進捗状況や社会経済情勢等を踏まえ、高付加価値化機能を備えた世界基準の新たなロジスティクスターミナルの形成等の土地利用検討。

在来貨物

- 完成自動車や建設機械等のRORO貨物や重量物等の多様な貨物を取り扱う在来バースの再編・強化
- 国際コンテナ戦略港湾の競争力強化にも資する輸送手段のマルチモード化

フェリーバース

- ドライバー不足、環境負荷低減、災害時の代替輸送路への対応のほか、国際フィーダー輸送を担うフェリーの利用促進
- 船舶のリプレイスによる大型化等に合わせたフェリーターミナル機能の強化

広域輸送ネットワーク

- 大阪湾岸道路西伸部の整備促進
- 港湾幹線道路(ハーバーハイウェイ)のETC導入
- バージ輸送等の利用促進

環境にやさしいみなど



CO2排出量削減

- 神戸港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画(令和4年度策定予定)に基づき、官民連携による2050年カーボンニュートラルポートの実現
- 荷役機械、船舶、大型車両等を含めた、港湾オペレーションの脱炭素化
 - 停泊船舶への陸上電源供給の導入
 - 荷役機械やコンテナ輸送用トラクターヘッド等のFC(燃料電池)化など、水素等の次世代エネルギー利活用の促進
 - 環境負荷の低い船舶への優遇措置(インセンティブ制度) など

CO2吸収源

- ブルーカーボン(BC)の取り組みの推進

港湾物流DXの推進



生産性向上、労働環境改善

- 新・港湾情報システム(CONPAS)や集中管理ゲートの導入のほか、RTGの遠隔操作化など港湾物流の効率化や港湾労働者不足、労働環境を改善する「ヒトを支援するAIターミナル」の形成
- 港湾関連データ連携基盤(サイバーポート)を活用した港湾貿易手続きの効率化や、港湾施設の適切な予防保全型の維持管理の推進
- 港湾労働者やトラックドライバーの労働環境の改善による物流の効率化、多様な人材確保、パレット標準化等による荷役の省力化など、国の動向を踏まえた「ホワイト物流」の推進

人材育成

- 港湾短大や港湾技術研修センター等による人材育成
- 市民が港湾事業に触れる機会の拡大による港湾を支える人材の創出
- 神戸港が有する高度な荷役・梱包技術の国内外への発信・PR

安全・安心なみなど



ハード対策

- 物流機能の維持や、防災・減災による安全性の確保、大規模災害時における救援物資、人員等の輸送機能等を確保するため、耐震、高潮・津波対策による港の強靭化
 - 岸壁、橋梁等の耐震化
 - 港湾地区における荷捌地の地盤高上や、内水排除施設等の高潮対策
 - レベル2津波減災対策(浸水深を30cm未満まで低減等)、水門・鉄扉の遠隔操作化
- 大阪湾岸道路西伸部の整備促進など緊急輸送道路ネットワークの強化

ソフト対策

- 自然災害だけでなく感染症等にも対応した神戸港港湾BCPの充実(地震・津波、高潮・暴風、感染症対策)

都心・ウォーターフロント



- 都心・ウォーターフロントの将来構想『「港都 神戸」グランドデザイン』の土地利用方針に基づき、民間活力を導入したウォーターフロント再開発の推進
- 官民が連携したエリアマネジメントの推進による持続性のある都心・ウォーターフロントの形成
- 環境への配慮（脱炭素化の推進）、DXを取り入れたまちづくり
- 国内外へのウォーターフロントの魅力発信による交流人口の誘発

新港突堤西地区

- 都心三宮に近い立地環境を活かし、様々な都市機能を導入した再開発による新たなウォーターフロントの形成
- 『新港第1～第2突堤間における水域活用計画』に基づく再整備の促進
- スマートシティの実証フィールドエリアとして、ICTやIoTなどのデジタルサービスによるまちづくりの推進
- 京橋ランプを含む阪神高速3号神戸線の交通動線の検討

中突堤周辺地区

- 神戸ポートタワーのリニューアルや中突堤中央ビル、周辺施設等を含めた再整備の推進
- 観光船の活用や、メリケンパークにおける様々なイベント開催等による賑わいづくり

京橋地区

- 阪神高速3号神戸線の大規模更新事業に合わせた、船溜まり機能の再編及び埋立を含む高架道路周辺の利活用の検討

その他の地区

▶ ポートアイランド

- 眺望景観を有する立地環境を活かした「しおさい公園」の賑わいづくり
- 大阪湾岸道路完成を見据えた、地域活性化拠点の検討

▶ 六甲アイランド

- 背後地の利活用と一体となった「マリンパーク」の賑わいづくり

▶ HAT神戸

- アートを活用した魅力向上、水面利用を含む様々なイベント開催等による「なぎさ公園」の賑わいづくり

回遊性の向上

- 次世代モビリティや、新たな公共交通（BRTやLRT）など多様な移動手段を導入した回遊性の向上
- 海沿いのプロムナードの整備による、ウォーターフロントエリアの回遊動線の強化

シンボル景観

- みなと神戸を代表するウォーターフロント空間として、夜間景観を含む魅力的なまちなみ景観の形成

須磨海岸エリア



滞在型リゾートエリアの形成

- 須磨海岸と須磨海浜水族園や須磨ヨットハーバーなどの周辺施設とが一体となった「滞在型リゾートエリア」の形成
- 須磨海浜水族園の再整備とともに、須磨ヨットハーバーにおける民間活力を導入した運営及び再整備の推進
- 海岸沿いプロムナードの整備及び次世代モビリティなどを導入した回遊性の向上
- 須磨海岸エリアと都心や淡路島などを結ぶ新たな海上交通の導入検討
- JR須磨駅から須磨海づり公園に至る須磨海岸西エリアの回遊性や賑わい創出に向けた検討
- サイクルツーリズムと連携した賑わいづくり

環境にやさしい海岸

- ブルーフラッグの継続認証(フランス発祥の国際環境認証プログラム)
- アマモ等の育成など、地域と連携した環境学習、漁業振興の場の提供やブルーカーボンの推進

兵庫運河エリア



- ライトアップ等による夜間景観づくりの推進、運河沿いプロムナードの整備による回遊性向上
- アマモ等の育成など、環境学習や漁業振興の場の提供、ブルーカーボンの推進など地域と連携した取り組み
- 水面利用を含む運河沿いイベント等による賑わいの創出
- 水上オートバイ等の航行禁止など安全な水面利用のための管理運営

海路・空路を活かしたまちづくり・誘客



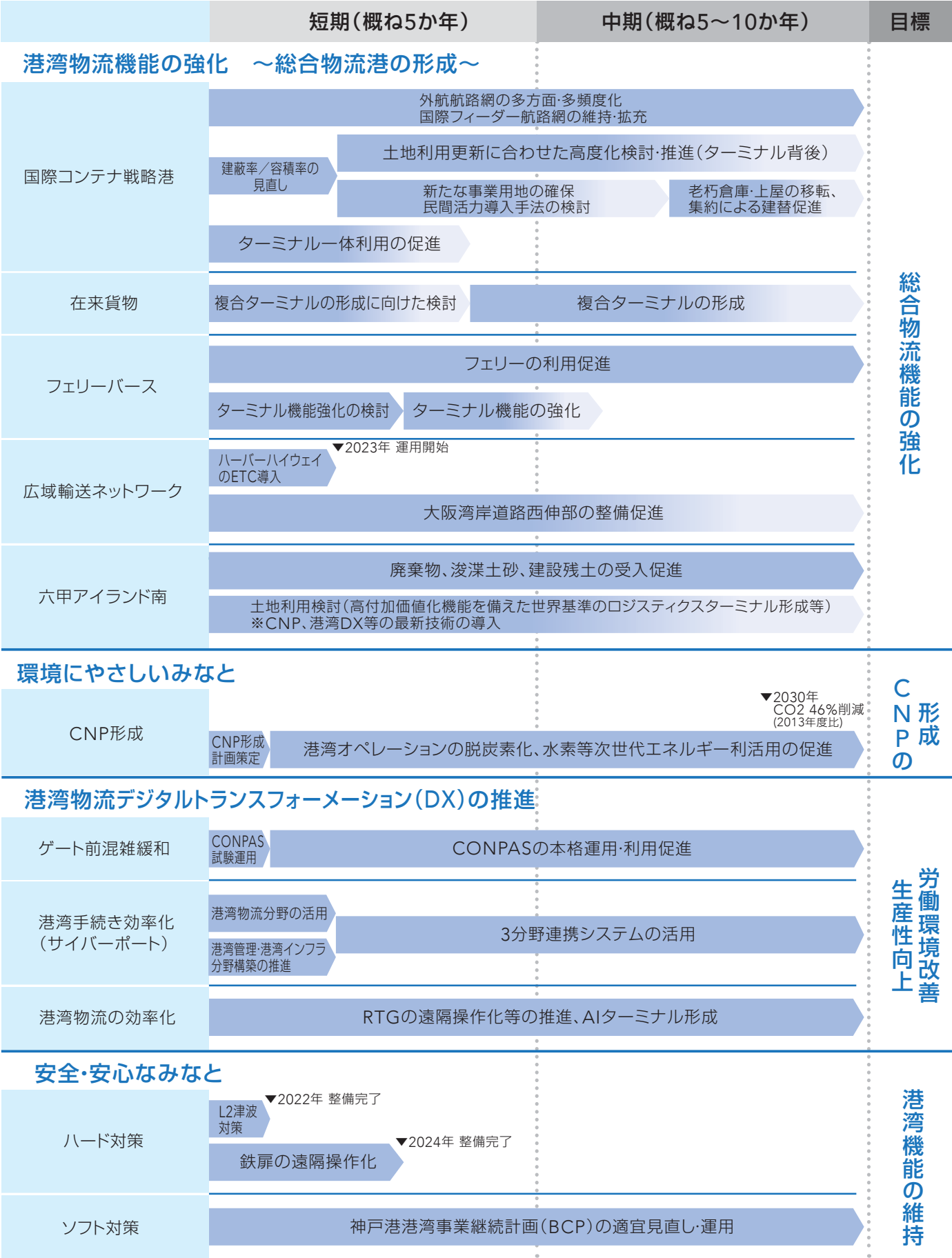
- 2025年の大阪・関西万博をはじめとする大阪湾ベイエリアの活性化を見据えた新たな海上交通の検討
- 淡路島や瀬戸内などの観光拠点と連携した新たな海上交通の導入検討
- 神戸空港と都心・ウォーターフロントエリアなどと連携した新たな海路による賑わい創出
- 市街地から神戸空港へ至る交通ネットワークの強化

クルーズ



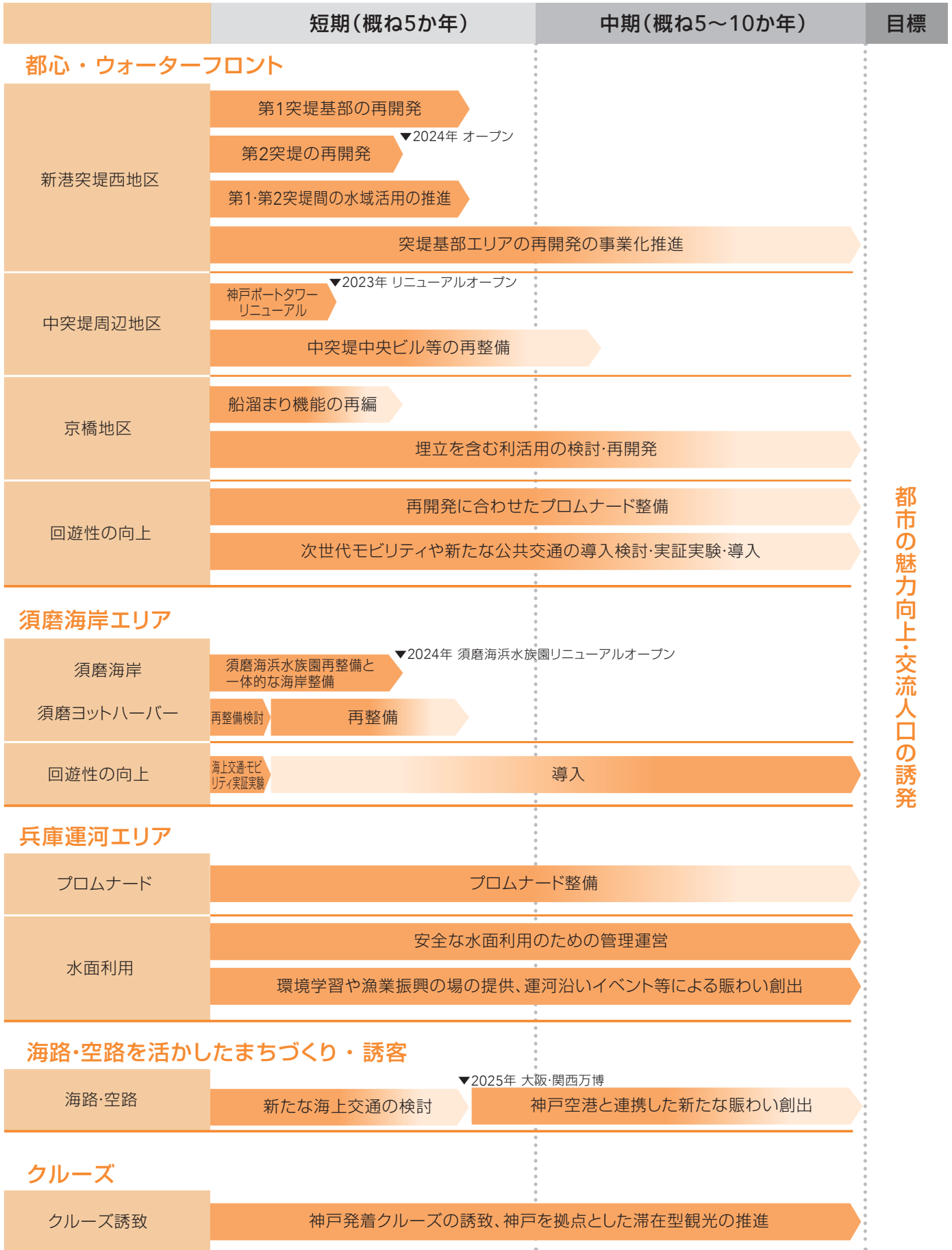
- プレミアム・ラグジュアリー船による瀬戸内クルーズなど、神戸発着クルーズの誘致
- 神戸発着のクルーズ船の誘致強化による神戸を拠点とした滞在型観光の推進
- 神戸空港とポートターミナルの優れたアクセスや、将来的な国際化を見据えた、Fly&Cruiseによる広域からの旅客誘致
- 感染症対策に配慮した安全で安心な受入体制の構築

「港湾・産業」分野



▲必要に応じて中間検証を実施

「にぎわい・都市」分野



都市の魅力向上・交流人口の誘発

▲必要に応じて中間検証を実施



用語集

あ

IoT

Internet of Thingsの略で、モノのインターネットのこと。コンピューターに限らず、車、家庭用電化製品、工場の製造ラインなどのさまざまな「モノ」をインターネットに接続し、データをやりとりする仕組みを指す。

ICT

Information and Communication Technologyの略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指す。

アジア広域集貨プロジェクト

東南アジアからの貨物集貨促進のため設立された官民連携によるプロジェクトチーム。2017年3月設立。

ESG投資

従来の財務情報だけでなく、環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)要素を考慮した投資。

上屋

荷揚げした貨物や船に積み込む貨物の荷さばきや一時保管を行うための施設のことで、通常、エプロンのすぐ背後に設置される。貨物の保管を目的とする倉庫とは異なる。

AIターミナル

AIやIoT、自動化技術を組み合わせた、世界最高水準の生産性と良好な労働環境を有するターミナル。

SDGs(持続可能な開発目標)

2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標。

エリアマネジメント

特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営(マネジメント)を積極的に行う取り組み。

LRT

light rail transit(次世代型路面電車システム)の略で、低床式車両(LRV)やバリアフリー化された乗り場により、高齢者やベビーカー・車いすの方、荷物が多い方でもスムーズに乗降できるなど、さまざまな面で優れた特徴を持ち、「誰にとってもやさしい」を目指す次世代の軌道系交通システム。

大阪湾岸道路西伸部

神戸淡路鳴門自動車道垂水ジャンクションから関西国際空港(りんくうジャンクション)までの大阪湾岸部を結び、広域なネットワークをつくる自動車専用道路のこと。また、大阪湾岸道路西伸部は、東灘区(六甲アイランド北)から長田区(駒栄)に至る延長14.5kmの区間を指す。

か

カーボンニュートラルポート(CNP)

国際物流の結節点・産業拠点となる港湾において、水素・アンモニア等の次世代エネルギーの大量・安定・安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化、集積する臨海部産業との連携等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指すもの。

ガントリークレーン

コンテナ荷役専用の橋型クレーンで船側エプロン上に敷設されたレール上を走行し、上部に張り出されたブームに沿ってトローリーが横行し、これに吊り下げられたスプレッダー(コンテナ用吊具)でコンテナをつかみ、巻き上げ、巻き下げ、横行して荷役を行う機械。

基幹航路

一般的に、北米・アジア・欧州の3極を直接結ぶ航路を指す。

緊急輸送道路ネットワーク

神戸市地域防災計画で定める、震災直後から行う4つの活動(①緊急物資の輸送活動、②救助・救急・医療・消火活動、③災害対策組織の活動、④道路の点検・規制・啓開活動)に必要な路線。

「港都 神戸」グランドデザイン

都心・ウォーターフロントのめざす姿である長期的な将来構想(概ね20~30年後)を描いたもの。2011年3月策定。

神戸港カーボンニュートラルポート形成計画(神戸港CNP形成計画)

神戸港におけるカーボンニュートラルを実現するにあたり、温室効果ガスの現状及び削減目標、それらを実現するために講じるべき取り組み、ロードマップ等を取りまとめるもの。

神戸港港湾事業継続計画(神戸港港湾BCP)

大地震等の自然災害等、危機的事象による被害が発生しても、神戸港の重要機能が最低限維持できるよう、危機的事象発生後に行う具体的な対応(対応計画)と、平時に行うマネジメント活動(マネジメント計画)等を示したもの。

港湾関連データ連携基盤(サイバーポート)

紙、電話、メール等で行われている民間事業者間の港湾物流手続きを電子化することで業務を効率化し、港湾物流全体の生産性向上を図ることを目的としたプラットフォーム。

国際コンテナ戦略港湾政策

基幹航路の我が国への寄港を維持・拡大することにより、企業の立地環境を向上させ、日本経済の国際競争力を強化、雇用と所得の維持・創出を図るために、国策として取り組んでいるもので、方策として、「集貨」「創貨」「競争力強化」の3本の柱が掲げられている。神戸港は、平成22年8月に大阪港とともに「阪神港」として「国際コンテナ戦略港湾」に選定されている。

国際フィーダー航路

諸外国からの輸出入貨物を、国内主要港で積み替え、国内他港(支線港)と結ぶことを内航フィーダーと呼び、内航フィーダーのうち、国際コンテナ戦略港湾(阪神港・京浜港)と支線港を結ぶ航路を国際フィーダー航路と呼ぶ。

さ

在来貨物

コンテナ貨物に対して、それ以外の貨物。穀物、液体化学品、鉄鋼や機械プラント等重量物やRORO貨物、青果物等の貨物のことをいう。

サプライチェーン

製品の原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの全体の一連の流れのこと。

次世代モビリティ

自動運転、小型モビリティなど新技術を導入した新たな移動手段のこと。

新・港湾情報システム(CONPAS)

コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的としたシステム。

スマートシティ

ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域であり、Society 5.0※の先行的な実現の場。

※サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のこと。

た

タイヤ式門型クレーン(RTG)

Rubber Tired Gantry craneの略で、コンテナヤード内のコンテナを運搬する荷役機械の一つ。

デジタルトランスフォーメーション(DX)

進化したデジタル技術を活用・浸透させることで人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させていくというもの。

トラクターヘッド

コンテナをトラック輸送する場合、トレーラーにコンテナを積み、トレーラーとトラクタを連結し、輸送する。トラクターヘッドとは、トレーラーを引くためのエンジンを備えた作業用自動車(牽引車)のこと。

トランシップ

積み荷港から積み卸港まで同一船ではなく、途中の港で他船に積み替えられて、積み卸港に輸送されること。このような貨物をトランシップ貨物又は、フィーダー貨物という。

は

バージ

停泊中の船と陸地との間や、離れた2地点間を往復して人や荷物を運ぶためなどに使われる荷船のこと。

バース

貨物を積み卸したり、旅客が乗降したりするために、船に係岸させるための施設のこと。岸壁や棧橋など。

BRT

bus rapid transit(バス高速輸送システム)の略で、連節バス、PTPS(公共車両優先システム)、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステム。

複合ターミナル

コンテナ貨物だけでなく、重量物や特殊貨物等の在来貨物やRORO貨物など多様な種類の貨物を一元的に取り扱うことで、荷姿を問わない物資の輸送を可能とする輸送手段のマルチモード化を図るもの。

Fly&Cruise

飛行機(フライ)と船(クルーズ)を組み合わせる旅行のこと。

ブルーカーボン(BC)

植物は、光合成によって大気中の二酸化炭素を吸収し、炭素を隔離する。海草や海藻、植物プランクトンなど海の生物の作用で海中に取り込まれる炭素のことを「ブルーカーボン」という。これに対し、森林や都市の緑など、陸上の植物が隔離する炭素のことを「グリーンカーボン」という。

ブルーフラッグ

ビーチ、マリーナにおいて、水質、環境マネジメント、環境教育、安全とサービスについての基準を達成することで与えられる国際環境認証。須磨海岸は2019年4月に取得。

プレミアム船・ラグジュアリー船

クルーズ船は、船の大きさや乗客数、乗客1人あたりのクルー数などの項目の程度によって、「カジュアル」、「プレミアム」、「ラグジュアリー」に分別されている。プレミアム船は、中型船以上のものが多く、さまざまな施設が充実し、落ち着いた雰囲気を楽しめる客船。ラグジュアリー船は、小型船から中型船のものが多く、最高級のサービスを提供する客船。

ホワイト物流

トラック輸送の生産性向上・物流の効率化により、「より働きやすい労働環境(より『ホワイト』な労働環境)」を実現すること。

5

陸上電源

停泊中の船舶に陸上から電源を供給すること。

レベル2津波

南海トラフ沿いを震源とするマグニチュード8~9クラスの地震。30年以内の発生確率が70~80%(2021年1月13日時点)とされている。また、南海トラフ巨大地震にともない、1000年あるいはそれよりも発生頻度は低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波をレベル2津波という。

RORO船(Roll on/Roll off 船)

船舶の側面や船尾に設けられた舷門を通してトラック、トレーラーが自走で船内に入出りすることにより荷役を行う船をいう。

ロジスティクスターミナル

Logistics(ロジスティクス)とは、企業における原材料の調達から生産・在庫・販売に至る物的流通の管理活動のことであり、ロジスティクスターミナルとは、物流の合理化・効率化等を目的に、戦略的に荷物等を取り扱うターミナルのこと。

神戸港中期計画 2022 年〇月発行
編集・発行 神戸市
電話：078-595-6304 FAX：078-595-6296

神戸市広報印刷物登録 令和 4 年度
第〇〇〇号（広報印刷物規格 A-1 類）



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE 

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。